

Q 消防操法大会の見所はどんなところ？

A 主に次の三つです。

①まっすぐ伸びるホース



- 操法大会で使用されるホースは一巻き20m。それらを3本つなげて「1線」とし放水します。※ポンプ車は2線で放水
※小型ポンプは1線で放水
- ホースがねじれていたりすると水圧が低下し、消火に十分な放水ができません。

- ホースがねじれたり、絡まったりしないよう正確かつ素早く延ばしていかなくてはなりません。

- ホースは1巻7kg。それを抱えて約50m先まで火点(標的)を目指して猛ダッシュ。そしてホースを延ばします。見事にホースが伸びた時は拍手を送りましょう。



②正確な放水



- 放水時にホースのノズルにかかる力は家庭用ホースの使用時と比べ、100倍以上となります。
- そのため放水による大きな負荷が体にかかります。

●勢い良く放水される水をしっかりと操り、10メートル先の火点を捉えます。

●放水後どれだけ素早く火点を倒すことができるかがポイントです。



③徹底した確認作業

●団員は常に一つひとつの動作について確認をしながら動いています。火災現場では、どんな危険が潜んでいるか分かりません。

●ポンプ車から降りる時もポンプを起動させる時も正確に作業をすることに努めなければいけません。



●素早く、正確な確認作業が団員のキレのある動きにつながっています。

●放水が終わってもまだ終わりではありません。

●消火作業のときに自分の体に火の粉が付いていないか、つい夢中になってどこか負傷していないか、最後まで確認作業を行います。

